

相馬港は、以前は「原釜港」と呼ばれ、漁港として利用されてきました。相馬港を大きくりっぱにし、相馬地方の工業をさかんにし、福島市を中心にした県北地方や宮城県・山形県へも玄関口にしようとして計画されました。

相馬港は、大きな船が入れるように着々と作られており、いろいろな外国船もきています。今も建設が行われています。

工業地いきの東地区には、相馬共同火力発電所の建設工事が進められており1号機が平成6年から、2号機が平成7年から発電が始まります。さらに、この地区に進出を計画している会社が多く、数年後にはたくさんの工場が建ち、たくさんの人がはたらき、たくさんの工業製品が作られる予定です。



発電を始める
相馬共同火力発電所

進出してきた工場

